

YMCA News



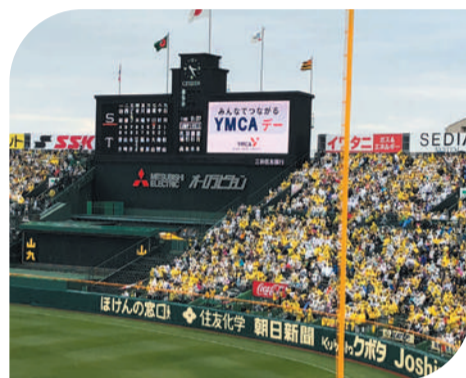
年間聖句 「すべての人を一つにしてください。」(ヨハネによる福音書17章21節)

「みんながつながる」YMCAデー

4月14日(土)「みんながつながる」YMCAデー阪神タイガース協賛試合が行われました。これは、多くの人々に東日本大震災、熊本地震の支援活動に継続してご協力していただけるよう、また被災された方々が復興へ向けて少しでも元気が出るようにとの願いを込めて、中日本地区のYMCAが協力して実施したイベントです。

皆様のご理解とご協力によって、約800名(神戸YMCAとしては192名)の方々にご支援をいただき、東日本大震災・熊本地震の被災家族53名(神戸YMCAとして4家族13名)を甲子園へ招待することができました。球場ではオーロラビジョンにYMCAブランディングロゴ、スローガンが大きく映し出され、熊本から招待した少年による始球式に始まった試合は、YMCAに連なる人々の繋がりを強く感じることができる感動的なものとなりました。

このイベントの趣旨にご賛同くださり、ご支援とご協力をいただきました皆さまに、あらためて感謝をもって報告させていただきます。ありがとうございました。



「サマーキャンプのおすすめ」

詳細はHPで!

<http://www.kobeymca.org/natsu/>

YMCAが日本(六甲山)で教育的組織キャンプを行ってから2020年で100年になります。

組織キャンプは小集団で行われ、参加者たちは普段の生活とは異なる環境でキャンプの仲間と生活をします。キャンプの最大の強みは“終わる”ことです。1日のデイキャンプも11泊12日のキャンプも最後の日がくれば“終わる”のです。だからこそ参加者は普段とは違う役割を担ったり、様々なことにチャレンジすることができるのです。そしてそこにはトレーニングを受けたボランティアのリーダーが寄り添っています。キャンプの体験を積み重ね、その体験を日常の生活に置き換えて活かすことができるのがキャンプの意義であると私たちは考えます。私たちが“目指すキャンプ”は“目指す社会”です。一人一人が尊重され、幸せに生きる社会を目指しキャンプを行います。この夏、共にキャンプに行きましょう!



専門学校ホテル学科 オリエンテーションキャンプ



4月5日(木)~6(金)、神戸三田アウトドアビレッジにてオリエンテーションキャンプを実施しました。

このキャンプは学生の自発性を高め、学年を超えた「学科」としてのチーム力を高めることが主な目的で実施しています。チーム全員が声をかけ合わなければ達成出来ない課題や、どうすれば個々の意見を尊重

しチームをまとめる事が出来るのかを考える場面に直面し、そこで始めて自分自身と向き合うことを経験した学生もいました。

このキャンプを通して感じたことを、これからの学校生活やホテルでの実習で生かしてくれることを願っています。

シリーズ こくさいのまど 57

第18回中日本地区YMCAグローバル教育研修会が、2018年2月17日(土)~18日(日)まで六甲山YMCAにて開催されました。この研修会では、世界の国々や地域における課題と私たちのつながりを捉え、「ともに生きる社会」をつくりだすために、YMCAの活動を通して私たちに何が出来るかを考えます。今年も平和学を専門とされている奥本京子先生(大阪女学院大学)をファシリテーターにお迎えし、日々の生活の中にある身近なコンフリクト(衝突・対立)との向き合い方、対話を通して平和をつくりだすスキルを共に学び、考えるときとなりました。

今回は、5カ国から29名が参加し、まさにグローバルなメンバーと多角的な視点で研修会を過ごすことができました。また国籍の違いに限らず、国内のユースも様々な背景を持っているため、互いの違いを受け入れながら平和について学ぶことができた貴重な時間でした。

また、神戸YMCAのパートナーである韓国・水原YMCAもこの研修会に興味を持っていただき、リハンギルさん(職員)とチャミンジェさん(韓神大学YMCA会長)が来日してくださいました。国際社会問題については詳しく研修会では取り上げなかったものの、平昌オリンピックも同じ時期に開催されたこともあり参加者同士で自然と日韓平和、朝鮮半島の現状について等、夜遅くまで語り合うこともありました。

何かと対立する人と対話することは容易なことではありませんが、コンフリクトの根っこを紐解きながらゆっくりと対話をはじめていくことが平和をつくりだす第一歩です。これからも、YMCAにいる人々から平和の輪が広がるようこの研修会を通して実現していきます。

最後に、この事業をいつもご支援いただいておりますワイズメンズクラブ国際協会西日本区の皆様に心より感謝申し上げます。



ちとせ幼稚園 「新年度を迎えて」

教育界ではこの度教育・保育要領改訂がなされ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が明記されました。それは、《①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現》で、それらが遊びを通しての総合的な指導の中で育成されることが求められています。この改定をきっかけに「私たちは、本当にこれらの10の姿を育てられているだろうか？」と今一度謙虚に問い直しながら保育に携わっていききたい、と職員一同気持ちを新たにしている新年度です。



3月の保育修了式では、年長児が堂々と楽しかったこと、出来るようになって嬉しかったこと等を自分の言葉で語り、「大きくなったら〇〇になりたい!」と言って目を輝かせている姿がありました。ありのままの自分を受け入れられ、神様と多くの人々の愛の中で育った子どもたちが、自信を持って幼稚園を巣立っていったことを私たちは誇りに思うと共に、本当に嬉しく思っています。また、この度の卒園児の中にはYMCAちとせ保育ルームを経て幼稚園を卒園した初めての子どもたちがいたことも喜びのひとつです。神戸YMCAの保育がひろがり、つながっています。

この春は、YMCAちとせ保育ルームがスタートして5年目、幼保連携型認定こども園になって神戸YMCAちとせ幼稚園が4年目、そして西神戸YMCA幼稚園が1年目を迎え、2018年度がスタートしました。これからも子どもたち一人ひとりが光輝ける保育を目指して歩みたいと思います。

西宮浜脇育成センター

「入学・進級おめでとうございます」



西宮市立浜脇育成センターでは今年も新しい仲間をむかえて1年生から3年生158名でスタートしました。入学式よりも一足早く、新1年生も元気いっぱい登所してきました。初めての育成センターでの生活は、子ども達だけではなく保護者のみなさんも不安と期待の一週間だったと思います。新2・3年生にとってはどんな仲間が来るのか楽しみにしていました。初日、さっそく1年生の手を取り、靴箱、ロッカー、連絡帳置き場を教えたり、センターでの過ごし方について伝えるなど頼もしい姿が見受けられました。お互いに少しずつ名前や顔を覚えて、新メンバーも育成センターでの生活に慣れることができるよう見守っていききたいと思っています。

今年度浜脇育成センターでは、今年1年のスローガンを掲げました。はまわきの文字にあわせて、「(は)しりだそう」「(ま)わりを信じて」「(フ)クワクドキドキしながら」「(き)ょうりよくしあう」はまわきファミリー。

いろいろなことにチャレンジして、毎日楽しみながら、家族のようにあったかいセンターにしたいという想いです。異年齢集団の生活の場である育成センターで、共に学び、共に育ち、心豊かに成長していくことができる場であるように願っています。



保育園(認定こども園)



春の桜が新入園児を迎え入れ、今年も新しい子ども達とご家族が入園されました。4月2日に入園式を行い翌日から保育がはじまりました。

最初は親子で登園し、少しずつ子ども達は、親から離れていきます。保護者の方も、少しずつ離れ、お仕事に復帰されていきます。

後ろ髪を引かれる思いで、園を後にし、お仕事に行かれる保護者の皆さんの大切な思いも受け、神様の愛、そして沢山の人の愛で子ども達を包み、子どもの心の安定をはかる4月、5月です。



近年、地域の団体のボランティアの方や中学生、高校生がこの時期、子ども達に関わってくださいます。親から離れて、泣き止まない子ども達を抱っこしてくれるボランティアの皆さん、一緒に部屋で、外で遊んでくれるボランティアの皆さん、4月の中旬ごろまでの期間限定で来てくださる皆さんの力と思いで子ども達は自らの足で園に通ってくるようになります。心より感謝申し上げます。

また、会員の皆様のご協力も宜しくお願いします。

園の子ども達への支援活動は
 ...YMCA保育園
 (078) 794-3901
 園長 小澤まで



灯台

Light House

No.17

総主事 井上真二



「奇蹟の石板」

旧三宮会館玄関前の植え込みに、「Y・M・C・A」と刻まれた石板が置かれていたことをお覚えの方もいらっしゃると思います。水野雄二前総主事の2014年7月号神戸青年奏鳴曲でも書かれていますが、あらためてその石板についてご紹介します。1945年6月5日、神戸に飛来したB29による焼夷弾爆撃によって神戸市の東半分が被害を受け、人と家屋が灰燼となった大空襲の際、神戸市民に「下山手の青年会館」として愛された第2期会館も、その外壁を残すだけで崩壊してしまいました。この時、会館に起居していた本城敬三さん(第4代総主事)は、常日頃YMCAにとって何よりも大切なものは理事会記録と会員名簿だと教えられ、理事会記録は運び出したものの、他の貴重な記録、写真まで持ち運ぶ余裕がなかったそうです。そのような廃墟となった神戸で焼失した会館跡に石板だけが残ったという事が、『神戸とYMCA百年』に次のように書かれています。「 中略 ～消失した会館の正面入口の玄関上部の「YMCA」の文字の刻みこまれた石だけが、奇蹟的にそのままの形で残った。あたかも「ここがYMCAなんだぞ!」と自らの存在を誇示するかのよう...。～中略 」

それから約70年、戦後の復興、高度経済成長、バブル経済の崩壊、そして阪神淡路大震災を経て、神戸YMCAも第3期中山手会館(1949年～1972年)、第4期加納町会館(1972年～2014年)、そして昨年完成した第5期会館と活動の場を与えられ、使命に基づく働きを続けてきました。奇蹟の石板は三宮会館の正面右手の床面に埋め込まれ、「ここがYMCAなんだぞ!」とこれまでのYMCAの歩みを、その存在を示しています。屋外にありますのでいつでもご覧いただくことができます。

神戸YMCAは5月8日で第132回目の創立記念日となります。その歴史を振り返る時、多くの先達の熱い祈りと献身が今のYMCAを支え、そして備えてくださったことを覚え、共に祈りを捧げたいと思います。



専門学校日本語学科 生活用品配布

今春日本語学科に入学した60名の留学生を対象に生活用品の配布を実施しました。

来日して1週間も立たない留学生にとっては、まだまだ不安がたくさんある時期です。神戸での留学生活が少しでも安心してスタートできるように、皆様のご協力により生活用品の配布を半年に一度行っています。

入学式では、緊張した面持ちだった学生も同国の先輩からアドバイスを受け、食器やタオル、抽選で当たった炊飯器などを手にして喜んで家に帰って行きました。

ワイズメンズクラブの皆様をはじめ多くの方々にご協力いただき感謝申し上げます。今後とも神戸に住む留学生へのご支援とご協力をお願いいたします。



高等学院 入学礼拝



4月5日(木)、神戸YMCA高等学院の入学礼拝が行われました。

これまで様々なことを抱えてきた新入生たち。みんな期待と不安の入り混じった気持ちで出席しました。

入学礼拝の後はホームルームがあり、登録時間割の確認や、これから始まる学校生活について、担任の先生より説明がありました。

新入生の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。これからともに歩んでいきましょう。

専門学校入学式

4月4日(水)、神戸YMCA学院専門学校ではホテル学科29名、日本語学科60名の新入生を迎え、入学式が行われました。

少しの不安を抱えながらも希望や期待に胸を膨らませて、チャペルに足を踏み入れたのではないのでしょうか。これから日本を含め20カ国から集まった184名が神戸YMCAで学校生活を送ります。

仲間とともに、それぞれの目標に向かって歩み、いろいろなことにチャレンジしてほしいと願います。



地区体育館便り



地区体育館(西、垂水、須磨、東灘)の指定管理制度による運営が始まり13年目の春を迎えました。

安心・安全、公平・公正な施設管理運営はもちろんですが、幼児(親子教室、幼児体育等)、小学生(体育が好きな教室、バスケットボール教室等)、中高生(バスケットボール個人利用等)、成人(シェイプアップ教室、健康トレーニング教室等)のプログラム指導や安全講習会(熱中症対策、テーピング講習会等)等を行っています。施設外でも関係団体(大学、区役所等)と共同イベント(垂水ウォーキング、家族3世代元気UP DAY!等)や出張指導(体力測定、AED・CPR講習会等)等を行っています。

これからも地域と共に歩んでいく施設運営を行っていきます。

国際協力募金 報告

2017年度YMCA国際協力募金へのご協力をありがとうございました。

【支 出】		【取 入】	
日本YMCA同盟拠出金	360,000	一般募金	2,358,997
北タイ農村地支援	300,000	指定募金	581,465
定住外国人子ども奨学金	180,000	計	2,940,462
国際活動リーダーシップ養成	478,016		
神戸YMCA国際奨学金	480,000		
オリーブの木/パレスチナ・ガザ支援	68,000		
熊本地震支援	169,564		
東日本大震災支援	225,636		
九州北部豪雨支援	235,628		
CODE-PHD協会支援	150,000		
開発・国際理解教育	103,756		
事務局経費	189,862		
計	2,940,462		



創立132周年記念日礼拝のご案内

1886年の発会から132年が経ちました。神戸YMCAが何に拠って建てられ、歩んできたのかということ、神様との対話の中で再確認し、次の一步を踏み出していく場となることを願っています。どなたでもご参加いただくことができます。多くの方と祈りを合わせる時となれば幸いです。

日時: 2018年5月8日(火) 礼拝18:30~19:30、お茶の会19:30~20:00

場所: 神戸YMCA三宮会館チャペル

メッセージ: 「港町神戸とYMCAの使命」

中村 豊 先生(松陰女子学院理事長)

合唱: 神戸YMCA混声合唱団「くさぶえ」



2018年 総会

日 時: 2018年6月29日(金) 18:30~

場 所: 神戸YMCA三宮会館チャペル

議 事: 会則改定、常議員改選について

報告・表彰:

1. 2017年度事業活動概況・2018年度事業方針
2. 委員会報告
3. 監事報告
4. ボランティア奨励賞

※総会終了後、会員交流のお茶の会(懐かしい写真展示などもありますので是非ご参加ください。)

イースター早天礼拝



4月1日(日)の朝7時より、東遊園地に115名が集い、イースター早天礼拝を守ることができました。

礼拝では、「見てないのに信じる?」と題し、日本基督教団神戸教会の井上正道伝道師からメッセージをいただきました。今の時代だからこそ、見えないものを信じることのできる感性の大切さ。そしてイエスが語られた「信じない者で

はなく、信じる者になりなさい。」という言葉に胸に、私たちが歩んでいくことの意味を確認することができました。

礼拝後には、YWCAの皆さまが作ってくださったイースターエッグを味わい、温かい飲み物を飲みながら懇談のひと時も持ちました。

礼拝席上で捧げられた61,738円は、神戸YWCA相互援助募金ならびに神戸YMCA国際協力募金のために、感謝して用いさせていただきます。

本間立夫さん・恵美子さんを 囲む会

北米フロストバレーキャンプ場は我々日本のYMCAキャンプに携わるものにとって常に刺激と示唆を与えてくれる存在であり続けています。そしてその日米の架け橋としてのキーパーソンが本間立夫さんであることは言を待たないと思えますが、先日帰国され、4月16日に奥様恵美子さんと共に三宮会館を訪問されました。本間さんはそのキャリアを神戸YMCAで始められた大先輩でもあります。

新しい場所にかつて共に夢を語った方々約30名が集められ、旧交を暖めあったり、YMCAを現在を語ったりという豊かなひと時が持たれました。

最後にこの会の取りまとめの労を担ってくださった山口徹名誉主事にもお礼を申し上げます。



感謝・寄附

(前号掲載以降~3/31現在)

感謝をもってご報告します。(敬称略、順不同)

寄附・献金

西宮ワイズメンズクラブ、用海育成センター父母の会、啓明学院生徒会Sクラブ、原 寛、兼田 幸子、上杉 徹



子ども奨学金

浅井 まゆみ



個人消息

ご結婚

3/25入籍、6/17挙式 井川澄人さん(FWC) 梓さんと(旧姓:水本)

ご逝去

3/28 檜木善隆様(神戸学園都市ワイズメンズクラブ)

4/ 3 岩崎廣明様(西神戸YMCA幼稚園嘱託職員、大谷弘子先生のお父様)

ファミリーウエルネスセンター	☎078(241)7202	YMCAおひさま	☎078(793)9077
YMCAホームヘルパーの事務所	☎078(241)7237	西神南YMCA	☎078(993)1560
ランゲージセンター	☎078(241)7204	須磨YMCA	☎078(734)0183
専門学校	☎078(241)7203	YMCA保育園	☎078(794)3901
西宮YMCA	☎0798(35)5987	西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992
余島野外活動センター	☎0879(62)2241	西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)	☎078(241)7216	神戸学園都市YMCAこども園	☎078(791)2955
国際・奉仕センター	☎078(241)7204	神戸YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542
ウエルネスセンター学園都市	☎078(793)7401	YMCAちとせ保育ルーム	☎078(786)3821
西神戸YMCA	☎078(793)7402	西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705
神戸YMCA高等学院	☎078(793)7435	西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016
		あかしこども広場	☎078(918)6355

2018年5月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本塩町 2-11
THE YMCA神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町 2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/井上 真二
編集人/西田 勉
印刷/わかばやし印刷



Information